拡張型心筋症　西條舞ちゃんへの気功療法

2014/02/11(火) ブログ掲載

２０１４年2月１１日　神戸新聞

心臓移植で娘の未来を

神戸の西條舞（さいじょう）さん両親

２億１千万円、募金の呼び掛け

重い心臓病のため米国での心臓移植を目指す神戸市兵庫区の小学校４年西條舞さん（１０）の両親らが１０日、兵庫県庁で会見し、医療費や渡航費など約２億１千万円の募金への協力を呼び掛けた。

舞さんは生後半年で心臓の収縮が弱まる拡張型心筋症と診断され、昨年９月ごろから病状が悪化。投薬を受けたが改善せず、重い心不全になった。

現在は大阪府吹田市内の病院に補助人工心臓を装着して入院している。

姉は１２年前に同症で亡くなった。弟の貴翔（たかと）ちゃんも同症で入院中だが、脳梗塞を併発したため移植の対象になっていない。

両親の同僚や友人らが「まいちゃんを救う会」を結成。父の秀昭（４１）さんは「この先の人生を与えてやってほしい」と協力を訴えた。

１１、１５、１６日の各午後１～５時、神戸・三宮センター街とＪＲ尼崎、阪神西宮の各駅前で募金する。

ゆうちょ銀行の振替口座００９２０－９－２０２７２０。

同会　電話０７８・９５５・２５２８（午前１０時～午後３時）

ご寄付をされる方は、ここへ連絡、または振込んでください。

過去、同じ病名の方が元の心臓の大きさにもどり、現在も同じ病名で同じように西洋医学では移植しかないという女性に気功療法をおこなっていますが、いい感じに向かっています。

私はこの記事を見て、先天的なものとは思うものの、やってみないとわかりませんが、舞ちゃんにも気を送らせていただきたいと心から思っています。

同じ病名で元にもどられました男性（私が神戸製鋼所　システム室に入社したときの大先輩）が、以前も同じ病名の京都の男の子の両親に、私の気功を受けてはどうかと、何回もＦＡＸを送られたようです。

返事はなくて、心臓移植する前に亡くなられたようです。

この大先輩は、やしきたかじんにも、私の気功を受けてはどうかと連絡したとのことでした。

あいたた・いたわり気功
かくりん健身練（けんしんれん）

私との縁があれば、このブログを通して、気を送ることができると
考えております。気という一般的には見えない世界ではありますが、
舞ちゃんが少しでも元気に戻ればと思います。

今回のブログはいつもと違いますが、お力になれればと感じます。